

Form 5

平成 21年 11月 24日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 山梨県立吉田高校 ・ 重田和美
2. 参加研究者: DIAGO MARQUEZ,L.A. 博士
3. 実施日時: 平成 21年 11月 18日 (水) 13:00~ 15:30
4. 参加生徒: 2年生 40人、 1年生 1人、 0年生 1人 (合計 40人)
備考: (例:理数科の生徒) 理数科の生徒
5. 講演題目: (英文) Machine Learning for Human-Computer Interaction
(和文) 人間-計算機相互作用のための機械学習
6. 講演概要:
Part1 キューバの歴史と文化の紹介
Part2 キューバでの研究内容(緑内障患者のコンピュータ解析)
Part3 人間-計算機相互作用のための機械学習 & 実験
7. 使用言語: 主に英語
8. 講演形式:
(1)講演時間 150 分 質疑応答時間 20 分
(2)講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、プレ実験など)
パワーポイントとDVD映像を交えての講義とコンピュータを使った実験
(3)通訳 (例:受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

- 協力者 職・氏名
大学院生 神林さん (同研究室)
- (4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師の方から送っていただいたアブストラクトの中の語彙を学習
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金
10. その他特筆すべき事項: 特にありません